

2021年3月期 第2四半期 決算概要

長瀬産業株式会社
2020年11月4日

目次

連結損益計算書	3
地域(国内・海外)別売上高	4
セグメント別売上高 2期比較	5
セグメント別営業利益 2期比較	6
連結貸借対照表	7
連結キャッシュ・フロー	8
2021年3月期 業績見通し	9
配当状況	10

連結損益計算書

- 売上高：新型コロナウイルス感染症拡大の影響等を受け、減収
- 営業利益：Prinovaグループの高い収益性が寄与し、売上総利益は増加したものの、持続的な成長への投資として位置付けているDX推進のための費用等の増加により、減益
- 親会社株主に帰属する四半期純利益：保有株式の売却に伴う利益を計上したこと等により、増益

(単位:億円)

	19/09	20/09	増減額	前年同期比	通期見通し
売上高	3,919	3,811	△ 107	97%	7,540
売上総利益	508	537	+ 29	106%	1,070
<利益率>	13.0%	14.1%	+1.1%	—	14.2%
販売費及び一般管理費	402	448	+ 46	111%	920
営業利益	106	89	△ 16	84%	150
経常利益	105	96	△ 8	92%	155
親会社株主に帰属する四半期純利益	74	101	+ 27	137%	125
US\$レート (期中平均)	@ 108.6	@ 106.9	@ 1.7 円高		@106.0
RMBレート (期中平均)	@ 15.7	@ 15.3	@ 0.4 円高		@ 14.7

【為替変動による20/09期実績 売上高および営業利益への影響額】

売上高:約△35億円

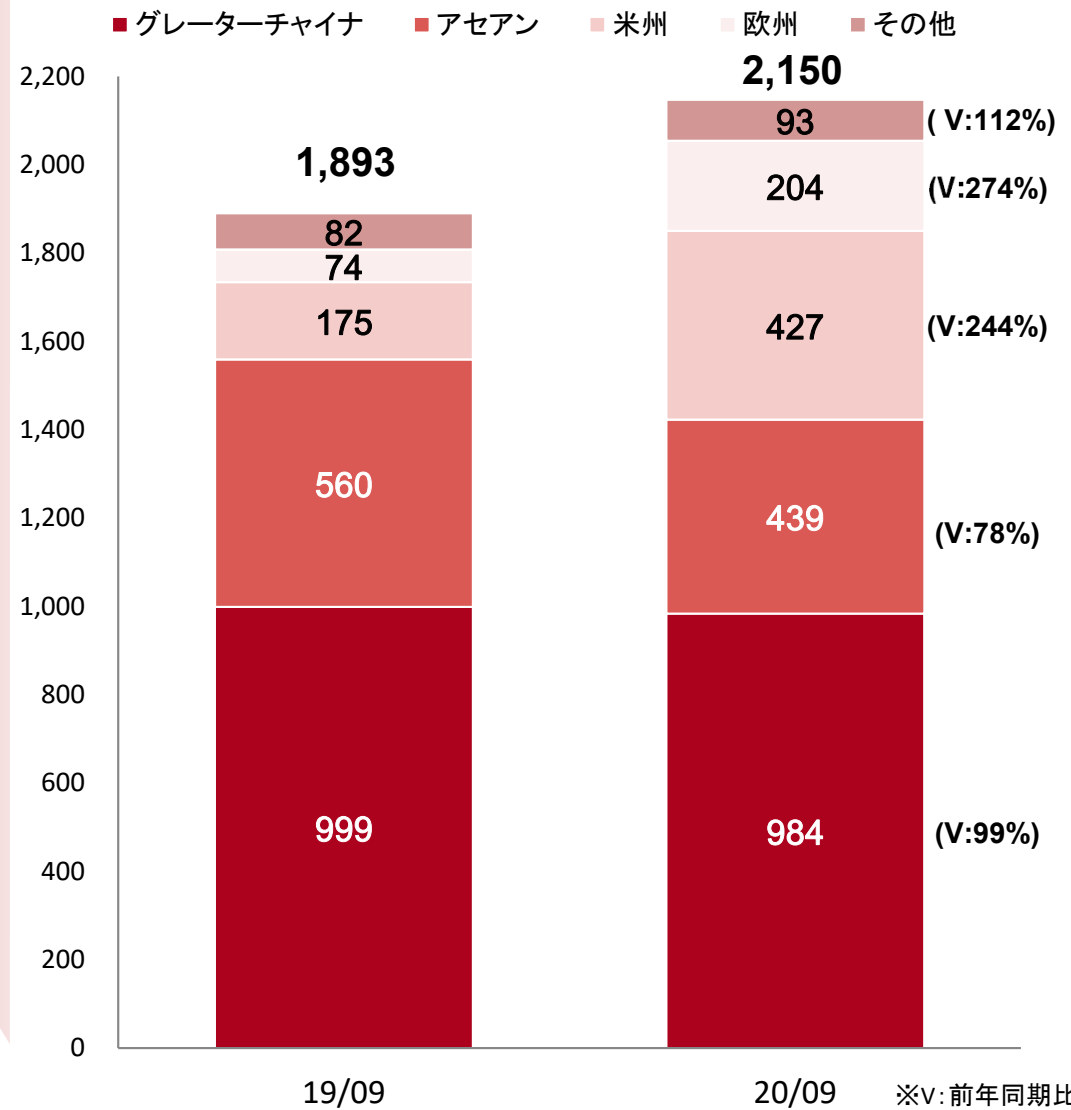
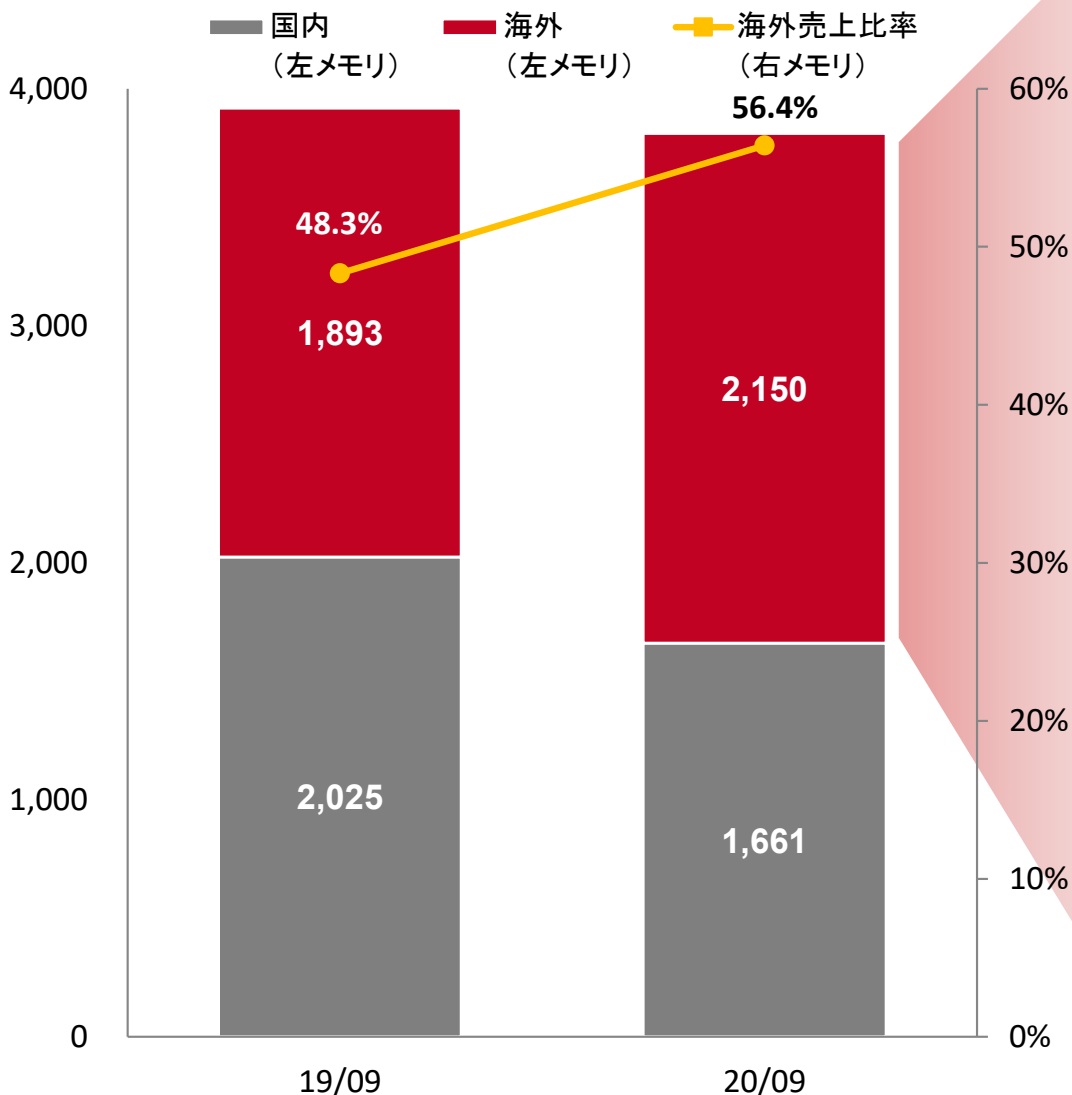
営業利益:約△1億円

地域(国内・海外)別売上高

■新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、特に国内およびアセアンにおける売上が減少したものの、Prinovaグループの売上が加わったことにより、欧米地域の売上が大きく増加（海外売上比率56.4%）

国内・海外売上高(億円、%)

海外売上高の地域別内訳(億円、%)



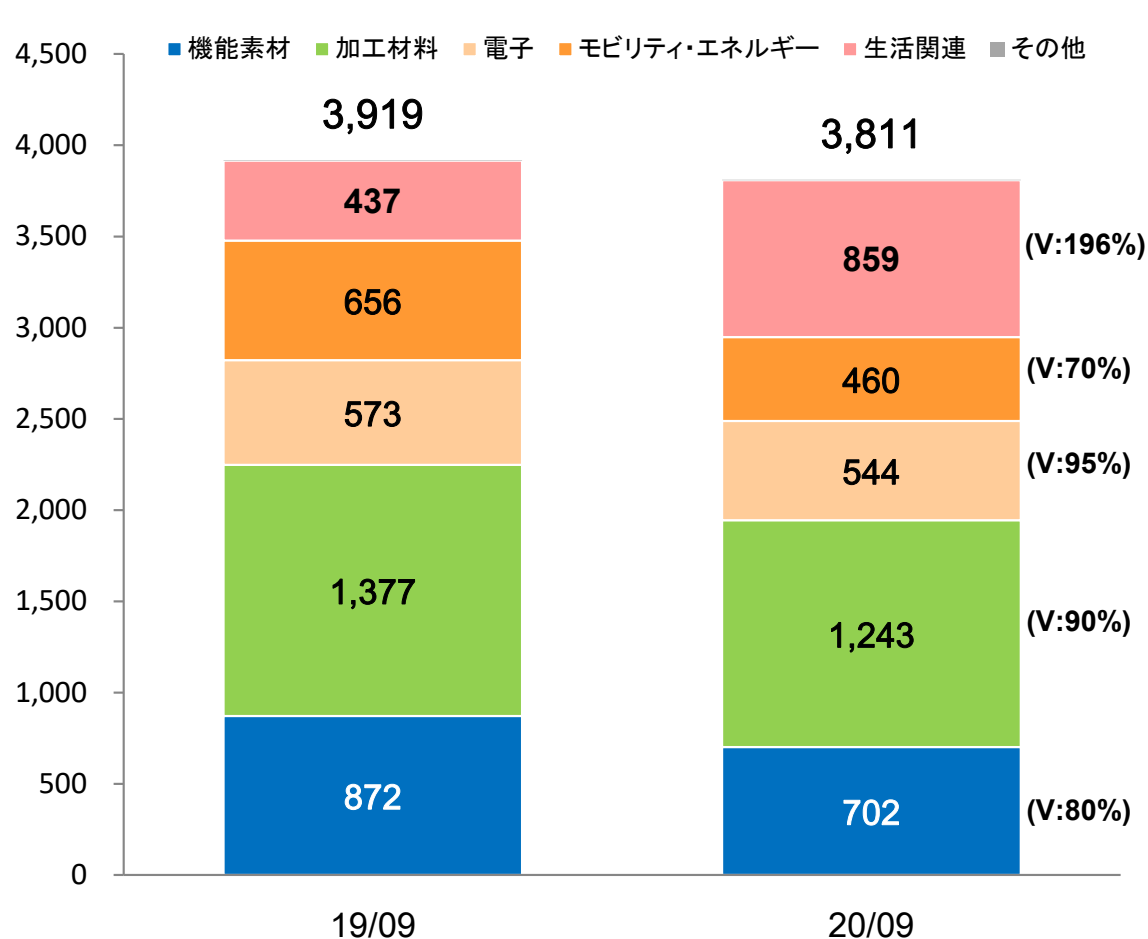
※v: 前年同期比

セグメント別売上高 2期比較

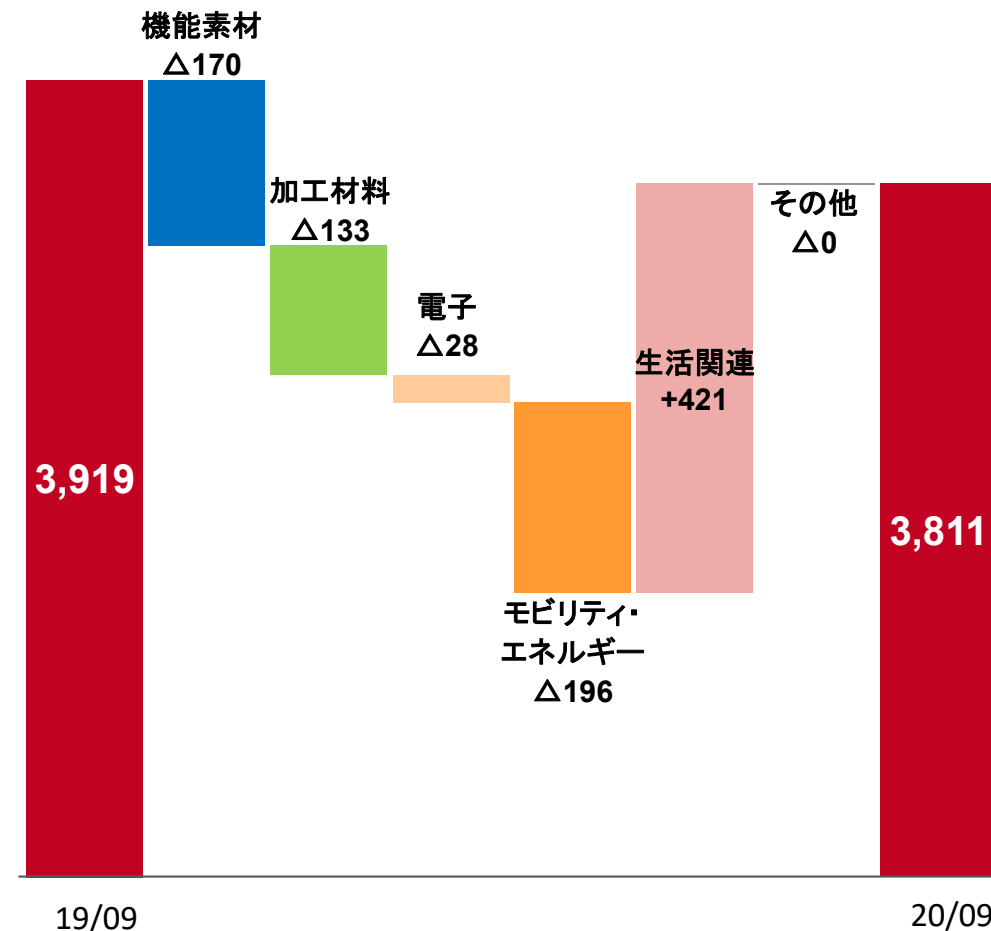
■モビリティ・エネルギー：グレーターチャイナを除く全地域の自動車生産台数の減少等により、国内におけるカーエレクトロニクス関連部材およびグレーターチャイナを除く全地域における樹脂ビジネスの売上が減少し、減収

■生活関連：新型コロナウイルス感染症拡大の影響による需要の減少等により、トレハ®等の食品素材(Prinovaグループ除く)やAA2G®等の香粧品関連素材の売上は減少したものの、医薬品原料・中間体・医用材料および衛生商品関連の売上が増加し、更にPrinovaグループの売上が加わったこと等により、増収

セグメント別 売上高 (億円)



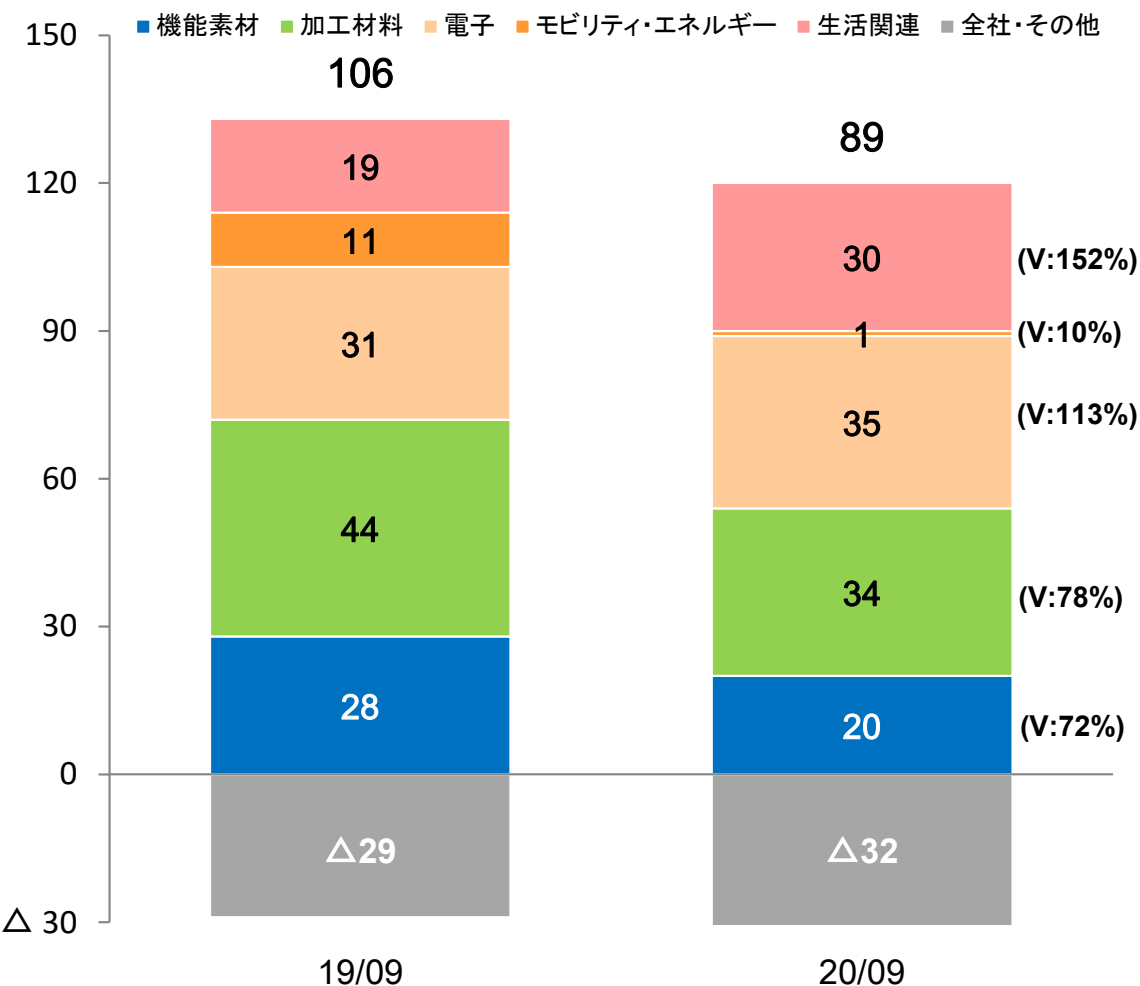
セグメント別 売上高 増減 (億円)



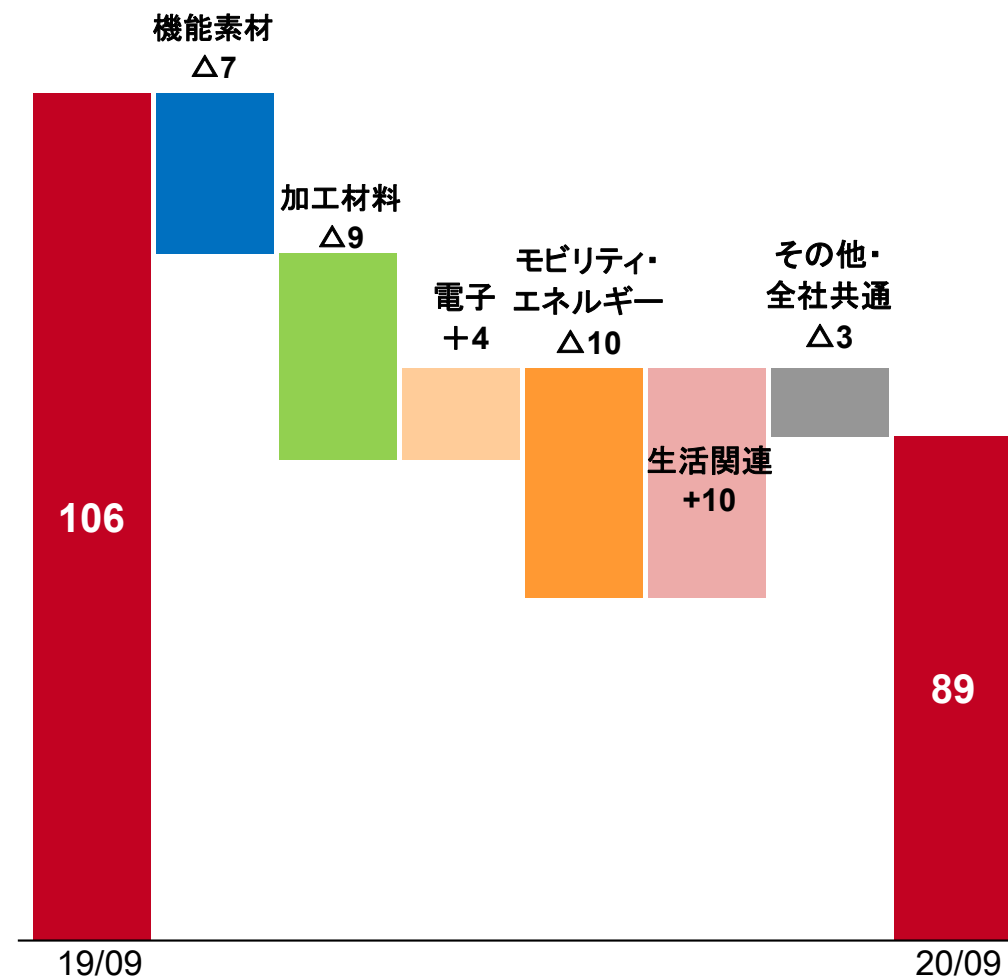
セグメント別営業利益 2期比較

- 加工材料：減収に加え、情報印刷関連材料ビジネスの市況下落による収益性悪化の影響等により、減益
- 電子：減収となったものの、一部の製造子会社の収益性の改善等により、増益

セグメント別 営業利益 (億円)



セグメント別 営業利益 増減 (億円)



連結貸借対照表

- 保有株式の時価上昇により投資有価証券は増加したものの、現預金および売掛金の減少等により、資産は93億円減少
- コマーシャル・ペーパーおよび買掛金の減少等により、負債は265億円減少
- 自己資本比率は、3.7ポイント増加し、53.6%

資産

	20/03	20/09	増減額
流動資産	3,793	3,540	△ 252
現金・預金	514	378	△ 135
受取手形・売掛金	2,211	2,094	△ 116
たな卸資産	956	949	△ 7
その他	111	117	+ 6
固定資産	2,321	2,480	+ 159
有形固定資産	743	756	+ 13
無形固定資産	725	690	△ 35
投資・その他の資産合計	852	1,034	+ 181
投資有価証券	761	941	+ 180
その他	91	92	+ 1
資産合計	6,114	6,021	△ 93

負債及び純資産

(単位: 億円)

	20/03	20/09	増減額
流動負債	2,004	1,715	△ 289
支払手形・買掛金	1,082	984	△ 98
借入金・CP・1年内償還予定の社債	618	444	△ 174
その他	302	286	△ 16
固定負債	978	1,002	+ 24
長期借入金・社債	726	694	△ 32
退職給付に係る負債	136	139	+ 2
その他(繰延税金負債等)	115	168	+ 53
負債合計	2,982	2,717	△ 265
純資産	3,132	3,304	+ 171
株主資本	2,723	2,798	+ 74
その他の包括利益累計額	329	426	+ 96
その他有価証券評価差額金	326	435	+ 109
為替換算調整勘定	10	△ 4	△ 15
その他	△ 6	△ 4	+ 2
非支配株主持分	79	79	+ 0
負債及び純資産合計	6,114	6,021	△ 93

キャッシュ・フローの状況

(単位:億円)

	20/09	主な内訳	19/09
営業活動によるキャッシュ・フロー	132	税金等調整前四半期純利益 +151 減価償却費・のれん償却 +66 運転資金の増減 +22 法人税等の支払 ▲53	124
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 25	有形・無形固定資産の取得による支出 ▲55 投資有価証券の取得による支出 ▲30 投資有価証券の売却による収入 +57	▲ 478
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 236	コマーシャル・ペーパーの減少 ▲200 短期借入金の減少 ▲38 配当金の支払 ▲27	394
現金及び現金同等物に係る換算差額	▲ 4		▲ 23
現金及び現金同等物の増加額(▲減少額)	▲ 134		17
現金及び現金同等物の期首残高	504		440
現金及び現金同等物の期末残高	370		457

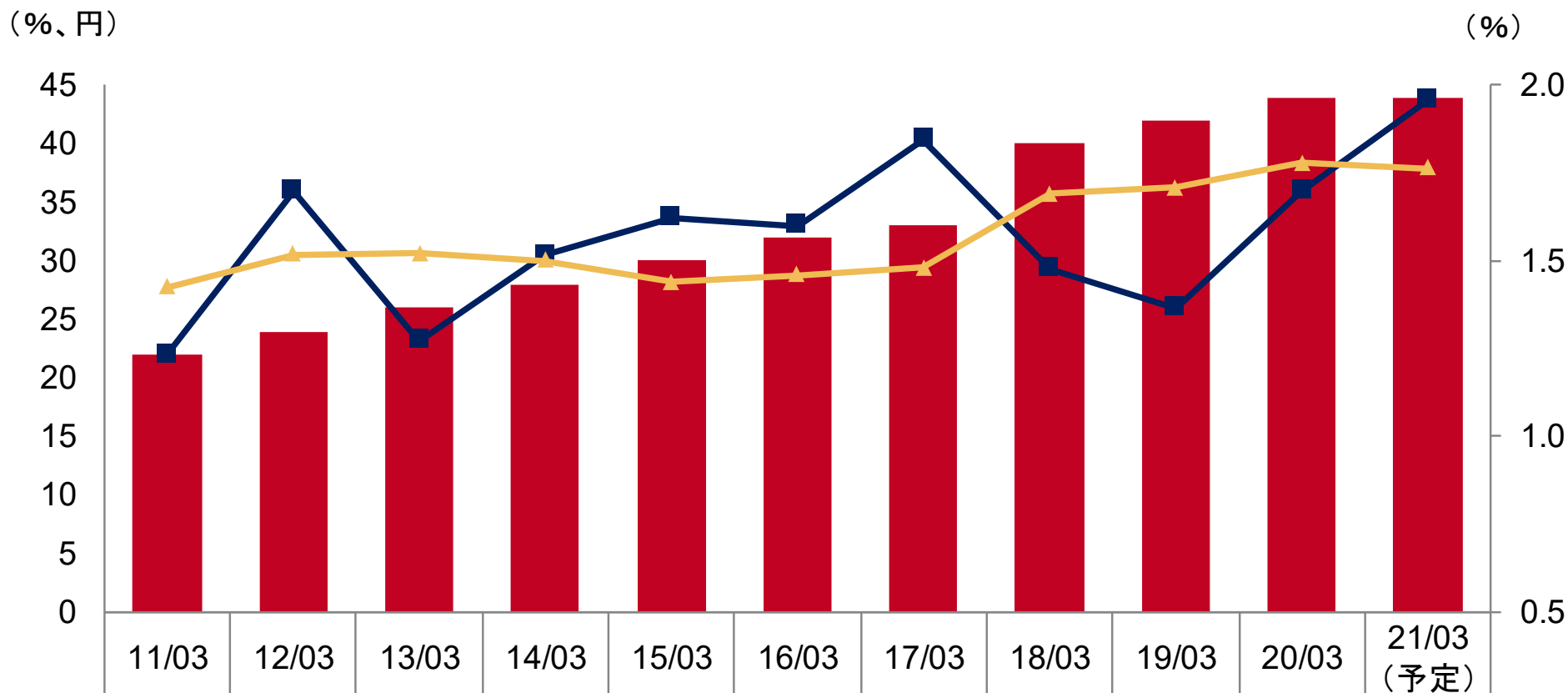
2021年3月期 業績見通し

- 上半期は、グレーターチャイナにおける想定より早い経済活動の再開、新型コロナウイルス感染症の拡大による供給不安を受けた一時的な需要拡大等を背景として、公表業績見通しに対し、比較的順調に推移
- 一方、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大が依然として続いており、本格的な回復基調へのシフトは2021年度以降と想定
- 下半期において、持続的成長に向けたDX推進への投資等を含む費用が上半期と比較し増加する見込み
- 更に、ポートフォリオの積極的な見直しに伴う一過性の費用が発生する可能性を見込む
- 以上の結果、全体としては減収減益の見通し（2020年5月公表の業績見通しから変更無し）

(単位:億円)

	20/03実績	21/03見通し	増減額	前期比
売上高	7,995	7,540	△455	94%
売上総利益	1,049	1,070	+21	102%
<利益率>	13.1%	14.2%	+1.1%	—
販売費及び一般管理費	857	920	+63	107%
営業利益	191	150	△41	78%
経常利益	190	155	△35	81%
親会社株主に帰属する当期純利益	151	125	△26	83%
US\$レート (期中平均)	@108.7	@106.0	@2.7円高	—
RMBレート (期中平均)	@15.6	@14.7	@0.9円高	—

■ 中間配当金22円、期末配当金22円の年間配当金44円を予定



※1 18/03期の配当金には、特別配当金5円を含んでおります。

※2 21/03期の期末配当金は、2021年6月開催予定の第106回定時株主総会に附議予定です。



Bringing it all together

<https://www.nagase.co.jp/>

当プレゼンテーション資料には、2020年11月4日時点の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれています。世界経済・競合状況・為替変動等に関わるリスクや不確定要因により、実際の業績が記載の予測と異なる可能性があります。